

普及だより

令和6年2月 Vol.

116

くにみ

発行：伊万里農林事務所

西松浦農業振興センター

TEL(0955)23-5128 FAX(0955)23-5138

imarinourin@pref.saga.lg.jp

NEWS TOPICS



魅力ある地域づくりと「地域まるっと中間管理方式」集落営農リーダー研修会

集落営農支援担当者会では、11月8日に伊万里市民センター文化ホールで令和5年度集落営農リーダー研修会を開催しました。「魅力ある地域づくり研究所」の代表である可知祐一郎氏を講師に迎え、魅力ある地域づくりによる担い手の確保育成についてお話しいただきました。

可知氏は担い手を確保するためには「魅力ある地域づくり」が重要だと述べられました。また、地域の農地を守っていくための新たな提案として「地域まるっと中間管理方式」を提唱されています。地域の農地をすべて農地バンクに貸し出し、農地バンクは借り受けた農地をすべて地域が設立した一般社団法人に貸し付けます。そして、一般社団法人は一部直接経営を行うとともに、担い手、自作希望農家には特定農作業受託を行うことで地域の農地を維持していきます。

当日は、生産組合長や法人化を目指す集落のリーダー達に参加し、熱心に耳を傾けていました。また、会場からは法人運営や鳥獣被害対策に関する質問があり、活発な意見交換がなされました。

地域農業を牽引する農業者の皆様

「佐賀農業賞」受賞

先進的農業経営者の部

優秀賞

山口和仁・恵利子夫妻

(伊万里市
南波多町)

山口氏は昭和63年に就農し、家族労働力を中心とした果樹複合経営で、年間を通して多彩な果実の販売に取り組みられています。就農当時の品目を見直しながら、農繁期の分散や収益向上を目指して露地栽培から施設化を進め、徐々に労力分散と販売時期の拡大により、高単価、収益向上を図られています。

また、家族経営協定を締結し、家族で役割分担を行う等、家族で協力しながら健全な経営を目指されています。

今後、家族労働力の変化への対応（雇用の拡大）や後継者への経営移譲、計画的な新植・改植等、果樹複合経営の取組が期待されます。



若い農業経営者の部

優秀賞

辻 健太郎氏

(伊万里市大川町)

辻氏は、施設野菜と露地野菜を組み合わせた雇用型の複合経営を行っておられます。ハウスの整備や機械化等により規模拡大をすすめ、遊休農地の活用につなげています。「この地域の農業を自分を守っていかなくては」と、強い意志を持って活動されています。

また、JA伊万里きゅうり部会の部長や若手グループ「胡青会」の副会長として、産地の維持発展に寄与されており、玉ねぎでは、高齢農家の作業受託等を行いながら、伊万里全体での拡大を目指し、伊万里地区の施設野菜と露地野菜の複合経営モデル農家として活躍が期待されます。



地域農業活性化の部

優秀賞

楠の木ファーム

(有田町楠木原)

楠の木ファームは効率的な水田農業の維持・発展のために平成28年に設立されました。豊かな自然を守り、地域に喜ばれる法人を目指して活動されています。中山間地で圃場条件が良いところばかりではありませんが、排水対策や土づくり、ドローンによる防除を組み合わせることで、生産性の高い農業を実践されています。

また、近年は若い世代の農業への参画を促すため、ドローンを導入し、担い手の確保につなげています。今後も地域の担い手の減少が懸念されますが、楠の木ファームが農地の受け皿となり、水田農業の維持発展に寄与することが期待されます。



令和5年度 農事功績者表彰

緑白綬有功章受章

市丸 初美氏(伊万里市)



伊万里市で花苗とブローラーの複合経営を行われている、株式会社百姓屋の代表取締役である市丸初美氏は、農業及び農村の振興・発展に特に功績のある方が

選出される緑白綬有功章を11月に受章されました。

市丸氏は平成6年に就農後、ブローラー飼養と花苗生産を行い、規模拡大や6次化に取り組みなど経営改善を行いながら、長年の目標であった法人化(百姓屋)に取り組み、農林水産大臣賞ほか様々な賞を受賞されるなど、先進的取り組みが評価されています。また、地域では経営改善の先駆者となり、女性の地位向上と社会参画、グリーンツーリズムの推進、農業後継者の育成(地域では初の女性農業士など)等、地域に貢献されてきたことが評価されました。

今後は家族が一致団結した会社運営(百姓屋)と、花で沢山の人を笑顔にしたいと立ち上げた百笑(monoeini)ブランドでさらなる経営発展が期待されます。

広がる担い手確保の取組 持続的な産地を目指して

新たな担い手の確保・育成に向けて、管内ではこれまで、青対協担当者会による就農相談会や就農セミナーの開催、農業士による伊万里実業高校の学生を対象にした出前授業、就農候補生との意見交換会など、担い手確保へ向けた支援が行われています。

また、新規就農者を育成する体制として、生産部会の若手組織による技術習得支援「チームトレーナー」の取り組みや先輩農

家が新規就農希望者に実践研修を行う「トレーナー制」導入の取り組みが広がっています。

さらに、今後は関係機関と連携しながら、中古ハウス等の継承による就農支援、園芸団地整備による農地の確保、国営農地の情報共有等、出口対策を見据えた担い手確保対策に取り組んでいきます。



▲熱心に梨園の説明をする中山農業士



▲農大果樹現場講義の様子

トピックス①

果樹の新たな担い手確保について

担い手の減少が進む中、全国の各産地で担い手確保の取り組みが行われてい



管内では、ナシにおいて2地区で守る会が設立され、研修生受入れの取り組みが行われています。この取り組みを部会全体での取り組みにつなげていくことを目的に、JA伊万里梨部会役員、各守る会役員及び関係機関合同で、作業受託や新規就農予定者への就業支援等を行われている株式会社ふるさば新田原への視察研修を開催しました。それぞれ産地の状況は異なりますが、どの産地も「このままではいけない」という思いで担い手確保に取り組まれています。産地をどうしていきたいのか、そのために必要なことは何か、など生産者の皆さんと関係機関と一緒に考えていくことが大事です。伊万里・有田の果樹産地の目指したい姿を明確にし、実現に向けて進んでいきましょう！

トピックス②

玉ねぎ直播実演会開催

伊万里市波多津町で9月27日(水)玉ねぎ直播機の実演会を開催しました。



全国農業システム化研究会実証調査にて株式会社クボタに協力をいただき、効率的生産の実践のため、育苗はせずに種子を直接播種する直播栽培の実証調査を今年度行っています。直播栽培のメリットとしては、育苗の省力化、低コスト化を可能にすることで、県内でもまだ実証事例が少ないため、地域全体に普及できるように一日でも早い技術確立を目指します！

アスパラガス就農セミナー開催



日時 令和6年3月10日(日) 9時～12時

●場所

伊万里総合庁舎及び現地

●内容

室内研修、圃場見学、個人面談(希望者のみ)

●対象者

伊万里市または有田町でアスパラガス栽培を考えている方

●募集期限

令和6年3月1日(金)

●募集人数

10名程度

(事前の申込みをお願いします)

●応募・問合せ先

伊万里農林事務所西松浦農業振興センターまで

☎0955-05128



今年開催!
SAGA2024
イメージソング
はこちら!



高田幸亮氏(松浦)

私は現在、伊万里市松浦町で梨を約2ha、ブドウを約10a栽培しています。伊万里高等学校を卒業後、東海大学農学部に進学しブドウの研究を行いました。大学卒業後は福岡の青果市場で2年間勤務し、その後、実家の梨園を継ぐことを決意しました。現在は「伊万里4Hクラブ」に所属し、栽培技術の向上とともに経営者としての力を磨くため日々研鑽に励んでいます。また、R3年より新規品目への挑戦として、ブドウ「シャインマスカット」の栽培にも取り組んでいます。今後は、より栽培技術を向上させ、消費者に喜んでもらえる美味しい梨を作ることが目標です。また、地域の担い手として、伊万里の特産品である梨の活性化に貢献できるよう尽力したいと思います。